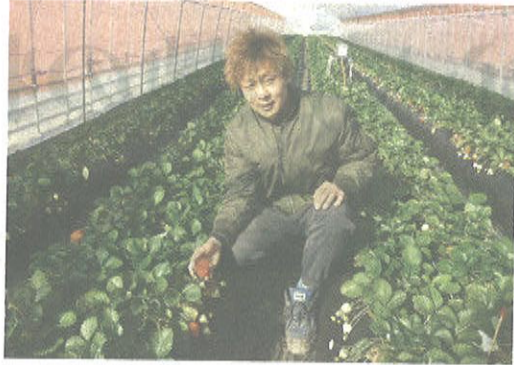


全国いちご選手権で金賞

上里町 戸塚優太さん

「祖父の畑と技術を守りたい」

【埼玉】上里町で戸塚農園を営む戸塚優太さん（32）は、6畝の畑にトウモロコシやハクサイなど露地野菜6品目を栽培。ハウス25坪でイチゴも栽培しており、日本野菜ソムリエ協会主催の第4回全国いちご選手権では、栽培経験わずか3



イチゴのハウスで戸塚さん

年で金賞に輝いた。

消防士として働きながら祖父の農業を手伝っていた戸塚さん。2022年に窓ガラスが割れるほどの電害が発生。大きな被害に遭った祖父から農家を引退する意思を告げられたことを受け、「祖父のきれいな畑と技術を守りたい」と23年に就農した。

祖父から露地野菜の栽培を継承する傍ら、収入を安定化しようと3年前にイチゴの施設栽培を開始。環境制御で緻密な栽培管理を行ったり、ハウスごとに異なる栽培方法を採用するなど、独学で

イチゴ栽培の経験値を多く得る工夫もしている。戸塚さんのモットーは「微生物が多い生きた畑を耕す」だ。堆肥・ソルゴーを活用し日々土づくりに励む。「特に夏場の作業は暑く危険と隣り合

わせだが、おいしいものを届けられれば」と笑顔で話す。地域に密着した農家をめざす戸塚さん。「地域の顔になれるよう、法人化して名前を売っていきたい」と意気込みを見せる。